

平成23年度 中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：平成23年12月21日 13:00～14:40
2. 場所：中日本高速道路株式会社 8F会議室
3. 出席委員：林委員長、山内委員長代理、伊藤委員、奥村委員、斎藤委員、水尾委員
4. 議事要旨

再評価（原案）の審議

近畿自動車道敦賀線（小浜～敦賀JCT）他10件の再評価（原案）を説明の上審議し、対応方針については原案（事業継続）のとおり了承された。

事後評価（案）の審議

中部横断自動車道（双葉JCT～増穂）の事後評価（案）を説明の上審議し、対応方針については案（今後事後評価の必要性はない）のとおり了承された。

主な意見

- ・これまで道路は、経済的に高い集積地間を優先して整備してきたが、これからは、南北軸の道路のように文化圏あるいは流域圏をつなぐ役割についても重視して整備していくことが重要。
- ・新東名は片側2車線で整備しているが、事故発生時に事故処理を含めた渋滞緩和、早期通行止め解除の観点から、高規格で整備する方が経営上も有利である。これら規格の決定などもインフラをつくる会社の責任ではないか。
- ・新東名は、東海・東南海・南海地震、首都直下地震の発生時において、リダンダンシーを発揮する極めて重要な道路である。早期の全線供用が望まれる。
- ・神奈川県区間の新東名は道路の完成時期が段階的に設定されているが、繋がることで大きなネットワーク効果が発揮される。

以上